

一般質問

2月28日、29日の本会議で、18人の議員が、市政全般について一般質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

若者の実態を把握し 総合的な就労支援策を



日本共産党 栗原 健治 議員

議員 労働における規制緩和が進み、非正規雇用が拡大している。多くの若者が低賃金に苦しんでいるなど、派遣やパート、アルバイトで生計を立てざるを得ない状況は深刻な問題だと考える。マッチング事業など若者への就労支援を行い、若者が社会参画していけるよう取り組む必要がある。若者の就労支援、自立支援について所見を問う。

市長 若年層への就労支援は、市全体の活性化にもつながる重要な施策だ。今後関係機関と連携して、就職面接会やニート、フリーター対策を含む就職支援セミナー等の事業を積極的に展開していきたい。

平和求める憲法を 次世代に伝えよ



日本共産党 森 徹 議員

議員 二度と戦争をしてはならないとの思いを結集させた日本国憲法を次世代に伝える必要がある。歴代自

が行う平和啓発事業の取り組み状況を聞く。

市長 中学生による憲法前文朗読、憲法を記念する市民のつどい、市民憲法講座等の事業を実施している。

議員 事実と向き合わずに歴史を教えることも学ぶこともできない。日本、中国、韓国が対話と討論を通じ歴史認識を共有しようと東アジア近現代史の副教材を共同編集した。こうした取り組みについて見解を伺う。



「憲法を記念する市民のつどい」で憲法前文等を朗読する中学生

市民生活を守る視点で 食の安全対策に取り組み



日本共産党 岩田 康男 議員

議員 食品偽装や中毒事件など食をめぐる事件が相次ぐ中で、食の安全対策は市政でも取り組むべき課題になった。市民生活の安全を守る視点が最も重要と考える。市長の現状認識を伺う。

市長 市民生活の安全を守る上で、大変重要な課題であると受け止めている。

議員 これまでの行政は縦割りの弊害による連携不足で消費者の視点が欠けている。市民の健康と命を守るため、三鷹市として食の安全問題に総合的に対応する協議会等の組織が必要だ。

市長 食に関する取り組みをライフステージごとに推進するとともに、「健康みたか2010」に基づき様々な事業に取り組んでいる。

議員 保健所は広報担当が廃止され「保健所だより」がインターネットでしか見られない。食の安全について、市民へのさらなる啓発活動を実施してほしい。

落書きを許さない まちづくりを



にし色のつばさ 浦野 英樹 議員

議員 最近、市内の幹線道路沿いや駅周辺で、壁やシッターへのスプレーによる落書きが多く見られる。被害を受けた人からどこに相談すればよいかわからないとの声も聞かれ、対策が必要と感じる。安全安心のまちづくりの観点からも、市は落書き問題に積極的に取り組むべきだ。国内外の自治体の事例を参考に、落書き被害を防止する有効な対策を講じてほしい。

市長 落書きは犯罪であり現行法での対策の強化が必要と考える。三鷹警察署へパトロールの強化と取締りを要請するとともに、安全安心・市民協働パトロールの活動を推進していく。

地球温暖化防止に 市は率先して取り組み



にし色のつばさ 嶋崎 英治 議員

議員 地球温暖化による砂漠化の進行や海面上昇、生態系の破壊、食料不足等が深刻な問題となっている。京都議定書で定めた温室効果ガス排出削減の目標達成は、我が国にとって大きな課題だ。地球温暖化防止に

三鷹市環境方針を常に携帯し、方針を意識しながら業務を行っている。

議員 学校教育において、子どもたちが地球温暖化の問題を実感できるような施策が必要だ。環境問題に取り組む市職員が学校で講義をする機会を増やすなど、環境教育の充実に努めよ。

教育長 市職員による講義や実地体験に近い教材を活用するなど、さらに工夫を重ねていきたい。

外国とつながる子どもへの 教育支援の充実を



にし色のつばさ 野村 羊子 議員

議員 外国籍など、多様な文化的背景を持ち日本語が不自由な児童・生徒は、言葉が障壁となり、十分な学習ができずに苦しんでいる。外国籍等の子どもに対し、学校への編入学当初に行う現状の日本語指導は、時間数など内容が十分とは言えない。日常会話がなくても学習言語能力が不十分で教科学習についていけない等、子どもにより状況は様々である。就学前の日本語指導の実施等、子どもの実態に沿った教育支援を行うべきだ。考えを聞く。

教育部長 実態の把握に努め、支援の充実を図りたい。

議員 母語も日本語も十分に習得できない状態では論

議員 千代田区では地球温暖化対策条例を制定している。条例の前文を区内の中学生が作成したと聞く。本市も同様の条例の制定を視野に入れながら、取り組みを進めるべきではないか。

生活環境部長 現時点では既存の条例や計画などをもとに、市民・事業者と協力して地球温暖化対策を推進していきたい。

公共施設のあり方を 新たな視点で構築せよ



にし色のつばさ 半田 伸明 議員

議員 民間のノウハウを公